



青南だより

令和8年10月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

運動会に向けての活動の中で多様な経験の積み重ねを

幼児期に体を動かす楽しさを味わうことは、生涯を健康に過ごす上で重要です。子どもたちは先生や友達と一緒に運動遊びをする中で、諦めずに頑張ったり友達と力を合わせたりするなど、体だけではなく心も動かして遊びます。園では活動内容や環境などを工夫し、幼児が意欲的に楽しんで体を動かす中で、身体諸機能を十分に働かせ、基本的な動きを獲得できるようにしています。運動会では、幼児が心も体も弾ませて生き生きと体を動かす姿をご覧ください。

『幼児期運動指針』文部科学省（平成24年3月）には

「幼児期は、生涯にわたる運動全般の基本的な動きを身に付けやすく、体を動かす遊びを通して、動きが多様に獲得され、動きを繰り返し、動き方が上手になる。意欲をもって積極的に周囲の環境に関わることで、社会性や認知的な発達が促され、心と体が相互に関連し合いながら総合的に発達していく時期である」と書かれています。体を動かす遊びを楽しむことは、心身の健康はもとより、社会性の育ちや知的な発達など、内面の育ちにも大きく影響します。



幼児期において獲得したい基本的な動きとは、以下の通りです。

「体のバランスをとる動き」…立つ、座る、寝ころぶ、起きる、回る、転がる、渡る、ぶら下がるなど

「体を移動する動き」……………歩く、走る、はねる、跳ぶ、登る、下りる、這う、よける、すべるなど

「用具などを操作する動き」…持つ、運ぶ、投げる、捕る、転がす、蹴る、積む、こぐ、掘る、押す、引くなど

これらの基本的な動きは、体を動かす遊びや生活経験などを通して、易しい動きから難しい動きへ、一つの動きから類似した動きへと、多様な動きを獲得していくことが大切です。幼児は自分の力で行動する充実感を味わい、できるようになったことで有能感をもちます。

健康な心と体は生きる源です。本園で育った子どもたちが、生涯にわたって心身ともに健康でたくましく、幸福感をもって生きていく人に成長していくことを願います。

令和8年度 港区立青南幼稚園経営計画 — 主体性を発揮して みんな笑顔の幼稚園 —

(1)健康な生活リズムと習慣、基本的な生活行動が身に付くようにします。

②健康な心と体を育むため、様々な体を動かし、心と体が動く気持ちよさや楽しさの経験や、基本的な動きの獲得を重視し、発達に即した運動遊びの工夫、戸外遊びの推奨などを行い、生涯を通じた豊かなスポーツライフを作る基礎をつくります。

(港区立青南幼稚園 経営方針 今年度の主な取り組みより)

